

卒業生からのメッセージ 3

わたしが卒業して初めて分かった附中の特色は、みんなどこか「変わっている」ことです。それがいつ、どこで形成されたのかを考えた末に、導き出された答えは、創意工夫に富んだ授業と、考え抜かれた活動だという結論に至りました。

隣にいる友と協働して解のない問いに挑むという、知らず知らずのうちに築いた姿勢と、それを通じた考え方や思考などが、他者から見たときに「変わった人」と思われる原因だったのです。

しかし、このような、今の多くの学校では「変わっている」と思われるわたしたちの存在は、これからの社会に対して大きな影響力を与えるようになると思っています。

洗練された物事への考え方、何人にも寄り添い手を取り合える優しさ、常に一人でも多くの人の幸せを願う心など、附中の3年間で自然と会得してきたこれらの姿勢や考え方に、「一生の友である附中生」とともに形を与える。そうすることで社会をより良い方向に前進させることができる、ということを私は体感してきました。 (井上 伽矢登)

僕が皆さんに伝えたいのは、附中生との繋がりについてです。

入学時、附属小学校から進学してきた人は知り合いが多いのに対し、中学受験を経て入学した人は知り合いが少ないので不安になるかもしれません。初めは“外部生”と“内部生”を意識して過ごす人も多いのではないのでしょうか。

しかし、皆さんのその意識もだんだん薄れていると思います。僕は2年になってから徐々に自分が“外部生”だという意識から自分は“附中生”だという考えに変わっていききました。今こうして皆さんに言葉を届けている卒業生は、「自分は“附中生”だ」という意識で繋がっています。 (稲本 純也)

僕が中学校の時、一番印象に残っていることは一人一人が非常に強い個性を持っていたことです。それぞれが、何かだれよりもずば抜けた才能を隠し持っていて、友達がそんな特技を持っていることを知った時の衝撃が、僕にとっても良い刺激になっていたことを思い出します。

僕らの学年には、虫をだれよりも愛し、だれよりも詳しい、面白い虫博士がいました。その子は、虫のことを研究してその結果を市長から認められ、東京にまで発表に行きました。このような才能を、みなさんも一人一人必ず持っているはずですよ。 (遠山 麟太郎)

僕が皆さんに伝えたいことは、やっぱり友達の大切さです。

たくさんの人と出会い、楽しい時間をすごせました。楽しかったのは協力できたからです。僕はバドミントン部に所属していました。軽い気持ちで入部しましたが、練習するうちにみんなとともに勝ちたい、と思うようになりました。最後の試合で負けたときは涙が出るほど悔しかったです。自分一人ではここまでの充実感はなかったと思います。友達が与えてくれたものはとても大きいものでした。 (佐藤 駿)

附中の思い出はたくさんありますが、一番良かったことはいい人たちに出会えたことです。

クラスの仲間とは楽しい毎日を過ごしたり、協力し合って何かを成し遂げたり乗り越えたり、充実した時間をすごせました。

部活の仲間とは、クラスとはまた違った時間を過ごせて、一緒に泣いたり笑ったり目標に向かって活動することができました。

友達だけでなく、先生もみんないい人です。相談に乗ってくれたり、一緒に喜んだり泣いたりしていただき、本当に楽しかったです。

入学したときは「附中の友は一生の友」と言われてもしっかりこななかったのですが、日々を過ごしていくうちにそう思うようになり、卒業すると何度も戻りたいと思うのです。

あの言葉は本当なんだ、と実感しています。 (山本 心優)

僕は中学生の頃、科学部に所属していました。最近は附中に行けていないので、みなさんに通じるかどうかわかりませんが、パソコン教室に入った時に感じる独特の雰囲気が好きでした。さて、僕は附中生に長けていることが3つあると思います。

1つ目は協調性です。他校と比べても、アクティブ・ラーニングやグループ学習が圧倒的に多かったと感じます。そこで互いに声をかけあい、意見交換することで相手の考えを借り、再考することにより、相互理解につながるような学習を日々していたと思います。

2つ目は、自主自立の精神です。一見協調性とは対極にあるように感じるとと思います。先ほど述べたアクティブ・ラーニングやグループ学習の中で、自分の意見をしっかりと持つことができます。その意見が客観的に正しく、またわかりやすいのかを自分で考え、さらに仲間とのかかわりの中でも意識することができます。コミュニケーションを円滑にするためには、自分の意見を少し変え、ある程度折り合いをつけることも大切です。しかし大切だと思うことは曲げないでください。自分を信じ続けることによって見えてくるものがあるはずです。

3つ目は、多角的な視点です。附中では非常に高度で多角的な視点から物事を考えるような授業が行われています、授業で基礎的な視点を身に付けるだけでなく、附中生はグローバルで長期的な目で世界を見つめることができます。 (高橋 岳之)